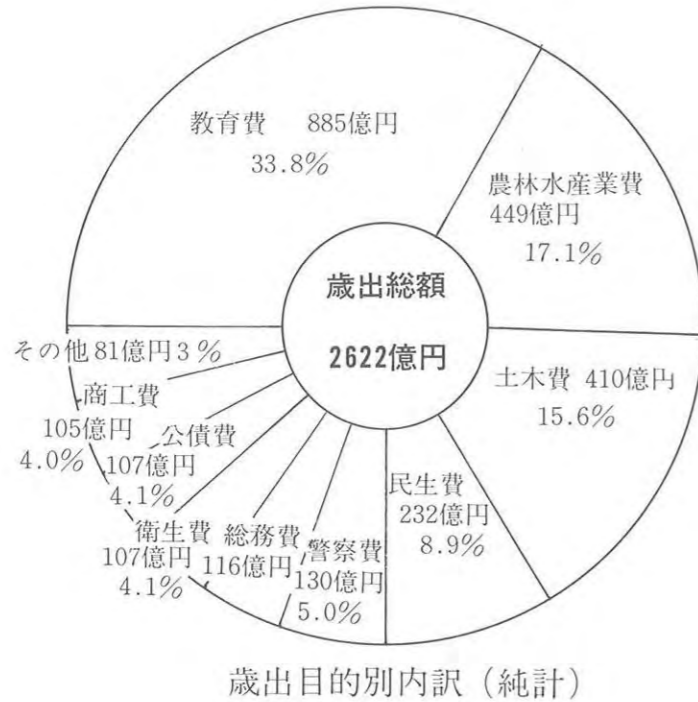
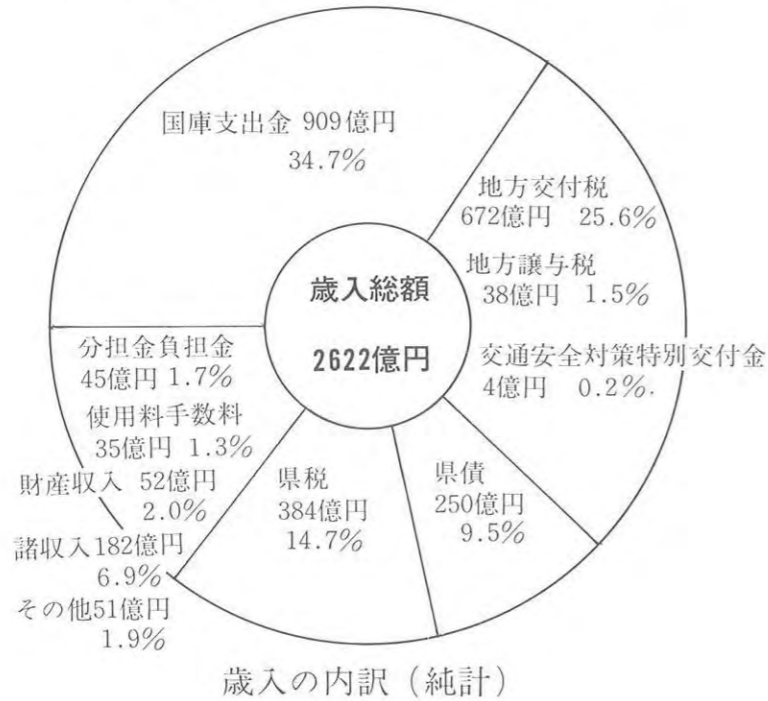


眼で見る県政

昭和51年度純計歳入歳出予算項目別構成比



2.20—第16回県農業コンクール大会の表彰式が県庁地下大会議室で行われ、創意工夫とたくましい行動力で、すぐれた経営成果をあげた10組の夫婦を含む43名、9団体が表彰されました。



2.25—「捨てるな散らすなみんなの町だ」「捨てるなゴミと吸いがらを、きずこう美しい熊本を」をスローガンに第3回美しい熊本づくり推進県民大会が郵便貯金会館で行われました。



3.4—熊本城二の丸に県立美術館がオープンしました。地下一階、地上二階の総合美術館で、県内の代表的装飾古墳のレプリカを配した装飾古墳室を備えています。総工費11億9千2百万円。



3.10—県民に北方領土問題についての理解と認識を深めてもらい、問題の早期解決実現を期待して、熊本市の百貨店で「北方領土展」が6日間にわたって開かれました。



1.19—「住民の求めに応ずる公民館活動の在り方」をテーマとする第21回県公民館大会が熊本市会館で行われ、新しい時代の公民館の果すべき役割について意見を交換しました。



2.4—県の新しい胸部X線撮影車の命名式が行われ、「しらぬい号」と名付けられました。購入費用1,300万円、今後県下各地の移動検診を行います。



2.10—限りある資源を大切にし心の豊かさを取り戻そうと資源を大切にす運動推進県民大会が熊本市会館で開かれ、活動事例発表、シンポジウム等が行われました。



2.14—県公害対策審議会は水俣湾へドロ処理事業に伴うツッソの事業費負担額を125億6,813万円とする意見を知事に答申しました。

県政トピックス ★ 県政トピックス ★ 県政トピックス